

## 平成27年第1回定例議会 開催

平成26年度最後の定例議会で、平成26年度一般会計で4億円以上もの財源に余裕ができたとして、当初予定していた基金取崩しを中止し、逆に1千万円以上を基金に積み立てました。

一方、平成27年度一般会計予算では、町長選挙を控えて骨格予算ということで前年比マイナス1億3千万円となっています。特に土木予算はマイナス2億3千万円と、多くの町民の生活道路や側溝整備などの要望が後回しにされています。

「入るを量りて出ざるを制す」で

### 「町民負担増」、「要望実現先送り」

## 仁木小大規模改修で 各教室にエアコン設置

27年度予算は骨格予算ではありませんが、仁木小学校の大規模改修工事など大型事業が計画されています。

仁木小学校校舎は、築30年を経過して老朽化が進んでおり、施設を改善し教育環境を整備するため、27・28年度にかけ、総額約4億円かけて施工されます。この中で各教室にエアコン設置が実現することになりました。

森島正司議員は、小中学校すべての教室にエアコンを設置するよう、2度にわたって一般質問で要求してきました。

「厳しい財政状況」という触れ込みで、町民に負担増を押し付けて、要望実現を先送りしています。

税収面では、軽自動車税の増税による増収や、個人町民税では名目賃金上昇を見込んで増額する一方、法人町民税は法人税減税で減額を見込んでいます。また本来町が負担すべき「街灯電気代」や「消火栓維持管理費」を地元負担させています。

一方町民の土木関連の要望は、建設課長の答弁でも150件ほどになっているのに、「骨格予算」を理由にまったく予算化されていません。

森島正司議員はこのように「町民に負担を押し付け、町民要望に背を向けるような予算は賛成できない」と反対しました。

### 安八郡広域連合議会で

#### 第6期介護保険料決定

### 介護保険料基準月額

4,800円から5,400円に

12.5%の値上げ

### 介護保険料改正案

#### いくつかの問題点

##### 介護保険料

年度からの介護保険料改定案が提出されました。

26年度に副議長に就任した森島正司議員は、久しぶりに広域連合協議会議員となり、介護保険料改定に当たって意見を言うことができました。

### 生活保護世帯層 42.1%UPに対し

所得額500万円以上の人 9.5%UP

介護保険料は、低所得者に対する負担軽減策として、低所得者には基準額より低くし、高額所得者には高く設定されています。

ところが今回の改正では、基準額で月額4,800円から5,400円へと12.5%引き上げられますが、生活保護世帯など最も生活の厳しい所得階層の方たちは、1,900円から2,700円へと42.1%もの大幅アップになる一方、年間所得500万円以上の高額所得者は8,400円から9,200円へとわずか9.5%のアップに過ぎません。

値上率を全階層同一にするだけで

### 更に低所得層の負担軽減可能

なぜ高額所得者を優遇するのか。

森島正司議員が、低所得者も高所得者も同じ値上率12.5%として試算してみると、広域連合としての保険料徴収総額は年間で240万円多くなりました。

この金額は、最も低い所得階層47人分の年間保険料支払額122万円の約2倍となり、この階層の人たちの保険料を免除してもまだ余ります。

必要以上の基金積立をやめれば

### 保険料値上を抑えられる

広域連合の「基金」は、3年間で使い切るのが原則です。しかし26年度末の基金残高は2,400万円。この上に、さらに4,400万円も積み立てるといいます。

この基金を活用し、積立額を減額すれば12.5%もの値上げは必要なくなります。

森島正司議員は「このような保険料値上は根拠がない」と、強く反対しました。他の議員は黙って賛成するだけでした。

## 平成27年度 一般会計予算

### 骨格予算理由に

# 町民の要望実現先送り

## 対前年比 マイナス1億3千万円

# 町民の声が届く議会に

## 求められる活発な議論

日本共産党輪之内支部は、5月17日投票で実施される町会議員選挙に、現職の森島正司議員を擁立して準備を進めています。

### 誰もが「住み続けたいくなる」「まちづくりを

森島正司議員は、昭和62年4月に初当選以来7期28年間一貫して「住民こそ主人公」という信念のもと、町政が本町に町民のためになっていくかどうかチェックし、必要に応じ厳しく町政を批判しながら、同時に町民の要望が一つでも多く実現するよう全力を注いできました。



街頭で訴える森島正司議員

略歴  
 S20・3 輪之内町で生まれる (70歳)  
 S38・3 大垣工高電気科卒業  
 S38・4 中部電力(株)入社  
 S62・4 輪之内町議会議員初当選  
 H17・3 中部電力(株)定年退職  
 H23・5 7回目町議選当選 現在に至る

ムダを省けば財源は十分あります。“みんなが住んでいてよかった、住みたくなる街”を目指して、町民の要望実現に全力を挙げています。

- ☆ 低所得者にとって高すぎる国保税や介護保険料の引き下げ
- ☆ 各小中学校の全教室にエアコンの設置を
- ☆ 保育士の処遇改善で 保育事業の充実を
- ☆ 消火栓の設置、維持管理はすべて町の負担で

### 旺盛な質疑で

### 深められる議案の審議

議会は、執行部が提案する議案に対して、その議案が主権者たる町民の意向に沿ったものであるかどうかチェックして、賛成か反対かの意思表示をし、多数決で決定します。議員は議案の内容を理解しないで賛成か反対かの意思表示はできません。執行部の通り一遍の説明だけで理解することは困難で、質疑によって内容を深めることが欠かせません。

### 殆どの議員 何も言わず

### ただ賛成するだけ

下表のように、過去4年間に議会に提案された議案は予算案や条例の制定・改正案など270件あります。これらの議案に対し本会議で質疑を行ったのは、森島正司議員191回のほか、田中政治議員23回、浅野常夫議員2回だけです。そして森島正司議員以外の議員はすべて原案どおりに賛成しています。

この中には23年度の国保税の22.5%もの大増税や、昨年度の庁舎改修に便乗した町長室へのトイレ設置を含んだ工事契約などがあります。

### 町民に不利となる議案には、

### 森島正司議員きっぱり反対

森島正司議員は質疑によって町民に異常な負担増となることが判明したものや、不必要な事業が行われるような議案に対してはきっぱり反対してきました。

本会議での発言回数（議案に対する質疑）及び 議案に対する賛・否 状況

	23年度 年間			24年度 年間			25年度 年間			26年度 年間			4年間 合計		
	提案数 80 議案			提案数 58 議案			提案数 60 議案			提案数 72 議案			提案数 270 議案		
	質疑	賛成	反対	質疑	賛成	反対									
1 上野賢二	0	80	0	0	58	0	0	60	0	0	72	0	0	270	0
2 浅野常夫	0	80	0	0	58	0	0	60	0	2	72	0	2	270	0
3 高橋愛子	0	80	0	0	58	0	議長			0	72	0	0	210	0
4 小寺 強	0	80	0	0	58	0	0	60	0	議長			0	198	0
5 浅野利通	0	80	0	0	58	0	0	60	0	0	72	0	0	270	0
6 田中政治	5	80	0	4	58	0	6	60	0	8	72	0	23	270	0
7 北島 登	議長			議長			0	60	0	0	72	0	0	132	0
8 森島光明	0	80	0	0	58	0	0	60	0	0	72	0	0	270	0
9 森島正司	57	69	11	44	50	8	47	51	9	43	53	7	191	223	35